

照明用ポールの寿命等について
 (長期間、安全にご使用いただくために)

(株)GSユアサ ライティング事業部

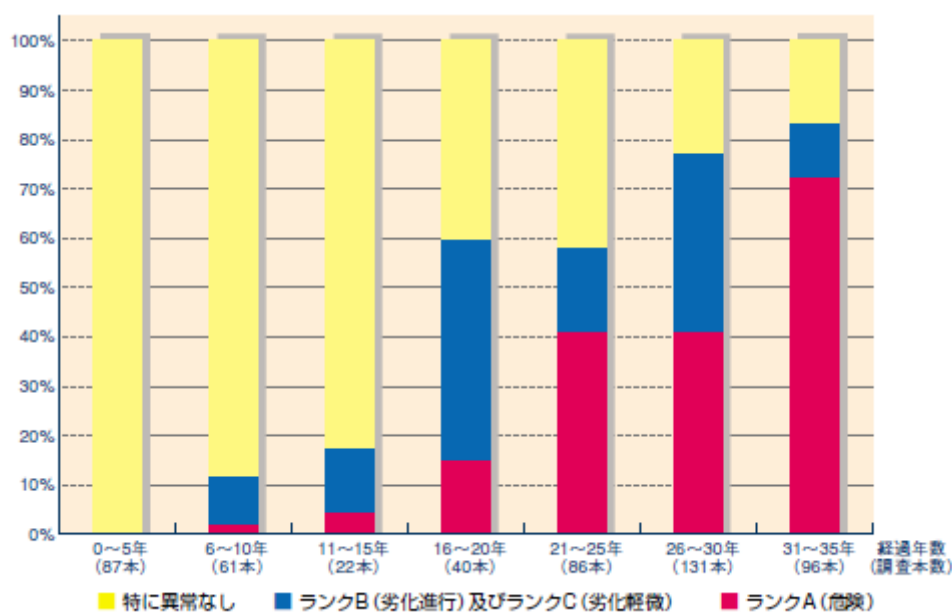
鋼製照明用ポールは、設置場所、気象条件及び交通量などの使用環境によるストレスにより、腐食や金属疲労等の経年劣化を起こします。

ポールの形状や構造にもよりますが、ポール下部(開口部廻り、地際部周辺)、中間接合部やアダプター部などは、他の部位と比べ、早く劣化が進行する可能性があります。経年劣化が進行したポールをそのまま使用し続けると大事故に至る可能性があります。

日頃の点検・補修等の適切な処置をおこなうが大変重要です。

特に、塩害を受けるおそれのある海岸地域、植栽部などの湿潤状態になりやすい場所に設置されている場合、早めの交換をおすすめいたします。

【経過年数別腐食状態】



鋼製照明用ポール設置後、6～10年でランクA(危険)に至るような腐食進行したものが見受けられます。

定期的な点検・補修を行うことによりトラブルを未然に防ぐことができます。

(社)日本照明器具工業会(JLA1018)「鋼製照明用ポール 点検・診断のおすすめ」より

【鋼製ポールの点検等について】

鋼製照明用ポールの点検等については、(社)日本照明器具工業会が発行しています「鋼製照明用ポール 点検・診断のおすすめ」(JLA1018)をご使用ください。